



各種表彰

※入賞者のみ 敬称略

スポーツ

◆小学校交流大会・中学校通信 陸上遠野釜石地区予選会(5月28日、市運動公園陸上競技場)
【小学校】 ■男子
1位 100m 1位 常陸佑斗(青笹ク) 15秒23
▽6年100m 1位 菊池飛羽(遠野) 14秒05
3位 鶴田尚己(同) 14秒75
▽5・6年80mH 1位 荻野成輝(上郷6) 15秒29
▽5・6年4x100R 1位 青笹ク 59秒8
▽5・6年走高跳 1位 田代旭(上郷6) 1m25
▽5・6年走幅跳 1位 菊池卓(青笹ク6) 3m98
3位 寺創太(同6) 3m76
▽5・6年ジャベリックボール投 1位 佐々木秀太(青笹ク6) 53m29
2位 小水内彰雅(同6) 52m10
3位 菊池潤(同6) 45m74
■女子
▽5年100m 1位 阿部杏海(土淵) 15秒92
▽6年100m 1位 大洞直生(土淵) 14秒83
▽5・6年80mH 1位 中村綺羅々(上郷6) 15秒76
▽5・6年4x100R 2位 青笹ク 1分04秒4
▽5・6年走高跳 1位 宇方良(青笹ク6) 1m10
▽5・6年ジャベリックボール投 1位 川愛咲(綾織ク6) 27m

76 3位 石橋美咲(青笹ク6)
22m67
【中学校】 ■男子
▽共通 200m 3位 千田拓未(遠野西3) 27秒27
▽共通800m 2位 千葉大誠(遠野東2) 2分28秒5
3位 佐々木愛斗(同3) 2分29秒8
▽共通3000m 1位 小原快都(遠野2) 9分56秒9
2位 田智貴(遠野西3) 10分15秒1
3位 佐々木愛斗(遠野東3) 10分17秒
▽共通1100mH 1位 菊池拓哉(遠野3) 17秒43
▽共通4x100R 1位 遠野東49秒6
3位 遠野中52秒4
▽共通走高跳 2位 瀧澤烈(遠野東2) 1m40
▽共通走幅跳 2位 菊池将太(遠野東3) 5m01
▽砲丸投 1位 川久保颯真(遠野東2) 7m80
2位 菊池涼太(遠野3) 5m82
▽低学年4x100R 1位 遠野東54秒4
▽1年100m 1位 留場洸成(遠野東) 12秒79
3位 川俣省吾(遠野) 14秒40
▽1年1500m 1位 菊池笙(遠野) 5分3秒48
2位 齋藤大(遠野西) 5分4秒33
▽2年100m 1位 菊池健太(遠野東) 13秒43
2位 小田島史門(同) 13秒82
3位 小笠原純(同) 15秒37
▽3年100m 1位 菊池拓哉(遠野) 12秒29
3位 菊池永

遠(遠野東) 12秒83
▽2・3年1500m 1位 小原快都(遠野2) 4分41秒15
2位 佐藤樹(同3) 4分55秒46
3位 菊池史大(同3) 5分3秒54
■女子
▽共通200m 1位 北湯口鮮(遠野3) 30秒73
▽共通800m 1位 菊池愛(遠野2) 2分34秒3
2位 菊池巴(同3) 2分40秒1
▽共通1500m 1位 菊池愛(遠野2) 5分13秒17
3位 菊池巴(同3) 5分25秒70
▽共通100mH 1位 水野千里(遠野2) 19秒06
▽共通4x100R 1位 遠野56秒7
▽走幅跳 2位 菊田ひかる(遠野東1) 4m22
▽低学年4x100R 2位 遠野59秒5
▽1年100m 1位 菊田ひかる(遠野東) 14秒22
▽1年1500m 1位 松田心菜(遠野) 5分40秒82
2位 菊池麻友莉(同) 5分53秒45
3位 末崎朱莉(同) 6分12秒97
▽3年100m 北湯口鮮(遠野) 14秒34
◆平成28年度市中学校総合体育大会 ※優勝のみ
【バスケットボール】 ▽男子 遠野
▽女子 遠野
【軟式野球】 ▽男子 遠野
【バレーボール】 ▽男子 遠野
▽女子 遠野
【ソフトテニス】 ▽女子団体

全国に挑む!

インターハイ出場者紹介

7月28日に岡山県などを会場に開幕されるインターハイ(中国総体)に出場を決めた、市出身の高校生を取材した。 ※敬称略

集大成となる投てきを目指す。

「全国大会に出場できることは嬉しいが、4位という結果が悔しい。ファール防止のリバース動作がうまくいかなかった」と浅沼は東北大会を振り返る。6月17日から20日まで青森県で行われた高総体東北大会の陸上競技円盤投げで、浅沼は38m30cmで4位に入賞。昨年に引き続き全

国大会出場を決めたが、本人は不満そう。 「全国の目標は45m。集中力をしっかり高めて、今回出し切れなかった分をインターハイにぶつけたい」と語る浅沼から闘志がにじむ。 高校での陸上競技の集大成となる大会に向け、浅沼は技術と精神のさらなる向上を目指す。



北上翔南高校陸上部 浅沼 花南 (3年、遠野西中出身)



黒沢尻工業高校 ボクシング部 菊池 弥寛 (2年、遠野東中出身)

鋭いまなざしの先には全国の強者たち。

6月2日から4日間、奥州市で行われた県高総体ボクシング競技のライト・ウェルター級で優勝した菊池。初戦こそ緊張で少し動きが鈍かったものの、リーチを生かしてボディをしっかりと打ちにいき、堅実な試合運びでインターハイの切符をつかんだ。昨年の東北新人大会では、2部

ライト級で優勝。2年生ながら、その実力は折り紙つきだ。インターハイは新人戦よりひとつ階級を上げての挑戦。「まずは初戦突破。相手との距離をしっかりと取って、動きを止めずに攻めていく」とやる気を見せた。上位入賞を目指し、初の全国に挑む。

県絶対王者。 全国への慢心はなし。

5月28日から2日間、盛岡市で行われた県高総体空手道競技において、釜石高校の遠野出身者4人が、インターハイ出場を決めた。女子は菊池と中世古、男子は細川が個人戦で、団体ではこれに笹谷を加えた4人が出場。4人ともインターハイ経験者。全国を知るからこそ、そこに強者のおごりはない。

県高総体個人3連覇を果たした菊池は「今年は組手スタイルを変えて技の精度を上げた。練習の成果を発揮したい」と力強く語った。個人・団体に出場する中世古と細川はそれぞれ「個人戦出場ができて嬉しい。全国大会はレベルが一気に上がる。もっと技を磨いて、全国の選手たちといい試合をしたい(中世古)」「個人・団体ともにまずは初戦突破。全員で協力して勝ち進みたい(細川)」と意気込む。団体で出場する笹谷も「全国の壁は厚い。前向きな気持ちで切らさず、まず一勝を挙げたい。」と強い意志を見せた。強化練習も増え、昨年より成長した4人が最後の夏を迎える。

釜石高校空手道部

細川 大輔 (3年、遠野中出身、☎)
笹谷 大海 (3年、吉里吉里中出身、遠野在住、中央☎)

菊池 亜美紗 (3年、遠野東中出身、中央☎)

中世古 ひかり (3年、遠野中出身、☎)



全国都市教育長協議会表彰
平成21年11月から6年4カ月にわたり教育長を務め、市立中学校3校の新設などに尽力。遠野の将来を担う子どもたちの育成に力を注いできたことが評価され受賞しました。藤澤さんは「市の教育行政のさらなる発展を願っています」と話していました。

文化活動
◆第16回高校生フォトコンテスト
2席 菅原聖(遠野緑峰1)
【卓球】 ▽男子団体 遠野 ▽男子個人 多田遥真(遠野西)
▽女子個人 佐々木遥(遠野西)
【剣道】 ▽男子団体 遠野 ▽女子団体 遠野 ▽男子個人 佐々木魁斗(遠野) ▽女子個人 吉田涼香(遠野)